

氏名	今北英高	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	基礎理学療法学、内部障害系理学療法学				
学位	博士（保健学）				
学歴	1991年 3 月信州大学医療技術短期大学部理学療法学科、2000年 3 月広島大学医学部保健学科、2002年 3 月広島大学大学院医学系研究科博士課程前期、2005年 3 月広島大学大学院保健学研究科博士課程後期				
経歴	2005年畿央大学健康科学部講師、2007年畿央大学健康科学部准教授、2009年畿央大学健康科学部教授、2022年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会（役職）	日本理学療法士協会、日本生理学会、日本体力医学会、日本整形内科学研究会				

【2025年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作(著書及びその他の著作物)							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該発痛源としてのファシア—その構造特性と治療介入の理論的背景	共著	あり		LiSA 33巻3号 212-218	小林 只、 <u>今北 英高</u>	2026.3
2	ファシア：機能解剖学的・生理学的特性とリハビリテーションにおける臨床的意義—構造からシステムへのパラダイムシフトと最新の治療戦略—	単著	なし		奈良理学療法学 18巻 21-28	<u>今北 英高</u>	2026.3
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	胸鎖乳突筋の吸気作用による胸郭変位の有限要素モデリング	共	第14回日本支援工理学療法学学会学術大会、福岡		○赤間美波,宮前菜津子,善田督史, <u>今北英高</u> ,小栢進也,木戸聡史		2025.12
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	文部科学省 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究C	換気量低下による骨格筋病態変化の関連因子の探索と高気圧酸素下運動の効果			研究代表者	2024.4～2027.3	
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法概論	○	3	理学療法の学びの入り口として、役割や概要、歴史を解説した			
2	循環系理学療法の臨床実践	○	8	問診やバイタルチェックなど臨床で使う技術を実践した。			
3	内部障害理学療法学		4	内部障害、特に循環器、代謝（糖尿病）についての講義を実施した。			
4	大学院 理学療法症候障害論		2	内部障害に関連する研究の現状について講義した。			
5	大学院 内部機能障害治療学特論		10	内部障害の介入手法について、その分析法も加え説明した。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	理学療法セミナーⅠ（OSCE1） （理学療法学科：3年前期必修）		8	臨床教育実習Ⅱに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。			

2	理学療法セミナーⅡ（OSCE2） （理学療法学科：3年後期必修）		8	臨床教育実習Ⅲ・Ⅳに向けた、理学療法に必要な問診、面接、及び基本的評価・治療技術に関する演習を実施し、能力評価として客観的臨床能力試験を実施。
3	理学療法研究法演習（理学療法学科：2年後期必修）		1	内部障害疾患（呼吸、循環、代謝系疾患）に関する研究について講義
4	大学院 理学療法症候障害演習		2	理学療法研究について大学院生とディスカッションし、方法論について講義した。
5	大学院 リハビリテーション学演習 （内部機能障害治療学）		10	内部障害における臨床での研究手法と、基礎研究との意義や乖離についてディスカッションし、指導した。
（3）実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	応用運動療法学実習	○	8	3年生次を対象に、内部障害系、特に循環器系、代謝系理学療法に関連する理学療法技術の実習を実施した。
2	内部障害理学療法学実習	○	12	循環器、代謝系理学療法に関連する医学的および理学療法評価について実際の技術を習得させた。
3	臨床推論実習		12	糖尿病の下歯切断症例、慢性心不全、COPDの症例を提示し、医学的情報の取得、理学療法評価項目の列挙、理学療法プログラムの一連の臨床的推論を実施した。
4	臨床教育実習Ⅰ（理学療法学科：2年後期必修）	○	学外実習：2週間 学内：2コマ	理学療法検査・測定についての体験的学外実習。3名担当。
5	臨床教育実習Ⅱ（理学療法学科：3年後期必修）	○	学外実習：5週間 学内：5コマ	理学療法評価に関する学外実習。3施設担当。
6	臨床教育実習Ⅲ（理学療法学科：4年後期必修）	○	学外実習：8週間 学内：2コマ	理学療法における評価・治療の総合学外実習。3施設担当。
7	臨床教育実習Ⅳ（理学療法学科：4年後期必修）	○	学外実習：5週間 学内：2コマ	理学療法における地域リハビリテーション、および特別領域における総合学外実習。3施設担当。
8	IPW実習	○	集中	4年生IPW実習（統括科目責任者）
（4）論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 7名	副指導 名
2	修士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 3名
3	博士論文	2025.4～2026.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 2名
（5）その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	春日部市立看護専門学校 非常勤講師	2025.4～2025.7	解剖生理学（循環器、血管）について非常勤講師として6コマ担当した。	
2	東京有明医療大学 非常勤講師	2025.5 2025.10- 2025.11	東京有明医療大学の非常勤講師としてリハビリテーション医学Ⅰを2コマ、リハビリテーション医学Ⅱを2コマ、リハビリテーション医学実習を2コマ担当した。	
3	大学院論文審査	2025.4～2026.3	博士後期副査2名、博士前期主査2名を実施した。	
4．社会貢献活動				
（1）講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	第34回 奈良県理学療法士学会・特別講演	奈良県理学療法士協会	ファシア（Fascia）について	2025.7
2	2025年度埼玉県立大学理学療法学科臨床実習受け入れ施設対象講習会	埼玉県立大学	評価と治療を広げるFasciaのみかた・捉え方	2025.8
3	2025年度埼玉県立大学講演会（後援会主催）	埼玉県立大学	Fascia（ファシア）から学ぶ連携教育	2025.10

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	一般社団法人 日本整形内科学研究会	理事	2021.4～
2	埼玉県理学療法学会	学術局編集部	2025.4～2026.3
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	地域貢献活動	開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉	2,3年生の学生チームが大手企業が提供する開放特許を活用した商品アイデアを創出、発表した。
2	地域貢献活動	高校生向け開放授業	希望のあった県内高校生7名に、理学療法概論の授業を受講いただいた。大学生、高校生双方とも非常に活発に受講された。
5. 学内運営			
	項目	内容	
1	学科等における委員会等	理学療法学科長	
2	大学広報活動	SNSを活用し、学科の授業やイベントの広報を実施した (Instagram、X)	
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		